

20mm

X線材料強度部門委員会資料
原稿の書き方

材料大学(院) ○吉田 花子 材料大学 山田 太郎*
X線工業 京都 左京

20mm

20mm

A Manuscript Instruction Manual for the Committee on X-ray Study of Mechanical Behavior of Materials

○ Hanako Yoshida (Graduate Student of Zairyo University)
Taro Yamada* (Zairyo University)
Sakyo Kyoto (X-ray Industry Inc.)
*yamada@zairyo-u.ac.jp

Abstract (可能なら)

This form is instruction for a manuscript of the Committee on X-ray Study of Mechanical Behavior of Materials. Please make your manuscript according to this format.

80mm

10mm

80mm

1. はじめに

日本材料学会 X線材料強度部門委員会関連事業の原稿フォーマットを示したものです。後日、講演会に参加されなかった委員にも配付いたしますので、講演内容が分かる概要をお付けするなどご配慮願います。(更新2023年9月12日)

2. 原稿作成要項

2. 1 原稿用紙

原稿はA4 縦書きとし、原則として10枚以内です。

2. 2 マージン

左右および上マージンは20mm, 下マージンは25mmです。これより外に書かれたものは印刷されません。本文は二段組, コラム幅80mm, コラム間隔10mmです。

2. 3 タイトルおよび著者名

題名は16pt, 著者名は12ptの大きさに、この用紙の例に従ってください。和文題名, 和文著者名, 英文題名, 英文著者名の順で記入してください。所属の記入方法も例を参考にしてください。また、講演者には、○印を記してください。さらに、Corresponding authorには、上付きで*印を記し、連絡先 (e-mailアドレス) を記入してください。

3. 本文

3. 1 文字の大きさ

本文は明朝系フォントの9ptの大きさに1コラムの文字数は全角で25文字程度, 行間隔は13pt程度(1コラム当たり51行程度)としてください。

3. 2 参考文献

参考文献は末尾に示した例のようにまとめてください。詳しくは、会誌「材料」形式を参考にしてください。

<https://www.jsms.jp/kaishi/kiyakunew.htm>

3. 3 図および表

図, 表を本文で引用するときはFig. 1, Fig. 2, Table 1, Table 2と記してください。図および表の

中の文字並びにキャプションは英語を使用してください。また、写真, 図および表は明瞭になるようにご配慮ください。

3・4 その他

句読点は全角の「,」(カンマ)と「.」(ピリオド)を使用してください。また、見出しに使うカッコは半角, その他のカッコは全角です。

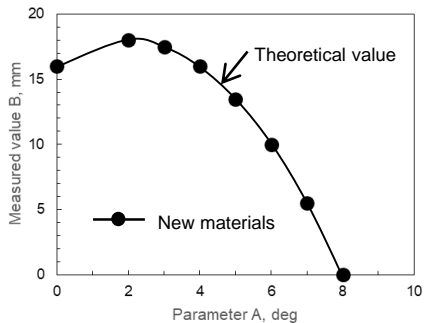


Fig. 1. Relation between parameter and measured value.

3. 4 原稿送付先

基本的にPDFファイル (グレースケールとカラー原稿) をメールで送付してください。また、大容量等でメールで送れない場合はCDやUSBに記録して郵送してください。

【CDやUSBで郵送する場合】
〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1-101
日本材料学会第〇回X線委員会係

【データで送付する場合】
件名: 第〇回X線委員会資料
送付先: jimu@office.jsms.jp

参考文献

1) T. Yoshida, S. Kyoto, "X-ray stress measurement of new materials", Journal of the Society of Materials Science, Japan, Vol.49, No.12, pp.139-145 (1998).

25mm